

# 「思い出の自然体験学習」

from 豊山中学校

六月十一日、二年生が滋賀県近江八幡市の休暇村近江八幡で二泊三日の自然体験学習を行いました。美しい琵琶湖の自然に触れながら、いろいろな活動に取り組み、学級や学年の仲間の親睦を深めました。

一日目の夜は、キャンプファイヤーを行いました。キャンプファイヤーの最後には、トーチトワリングの演舞が行われ、代表生徒が一生懸命練習してきた成果を発揮し、感動を与えました。炎の明るさや美しさだけでなく、自然の偉大ささえも感じさせる見事な演舞でした。

二日目は、冒険いかだ体験に取り組みました。各クラスを二班に分けていかだを作製し、それに乗ってタイムを競うレースを行いました。全員が協力して積極的に取り組むことができました。

三日目は、近江八幡市立運動公園へ向かいました。ここでは座禅体験と人間いす作りを行いました。日頃ではできないことを友達とともに体験でき、とても良い思い出になりました。

あつという間の二泊三日でしたが、天候にも恵まれ、無事に行って来られたことは何よりでした。この自然体験学習を通して、協力することの大切さ

を学び、互いの友情を深めることができたと思います。これからの学校生活に、ここで学んだことを生かして、さらに大きく成長してくれることを期待します。



トーチトワリング



冒険いかだ体験

## 第百六十八話

### 飛行場建設の炊き出し

昭和十七年、今の名古屋空港が軍の飛行場として建設が始まり、兵隊、遠方からの町村奉仕隊、学徒や団体の勤労奉仕隊などが昼夜の別なく懸命に飛行場作りをしました。



豊山村女子青年団は、毎晩奉仕隊の夜食のおにぎり作りに、必勝の鉢巻を頭に結んで挙国一致の精神で働きました。

その場所は新田の空港前で、大きな松の木も何本もあり、竹藪や雑木に囲まれた小高い丘になっていました。その南部をくりぬいて急こうらえのくど米を一度に炊くことができました。

炊きあがるのを待ちかねて、私たち女子青年奉仕隊は二列に並び、おにぎり作りが始まります。お釜から御飯を移

す時はスコップでした。一人がしゃもじでお茶碗にご飯を盛り、次の人は濡れ布巾で受けて丸め、梅干しを入れて次の人

後片づけをして家に帰る頃は、口もきけないほど疲れました。お風呂へ入ると手が痛くてお湯に入れられないほどでした。今は昔の物語です。(豊山町文化財研究会の郷土文集を参考にしました)

